



資源素材学会 GA企画セッション 「グリーンアジアのための資源業界と大学との絆」報告

【企画責任者】
九州大学大学院 工学府 教授
笹木 圭子

【報告】
九州大学 グリーンアジア国際リーダー教育センター 助教
三木 一

資源素材学会秋季大会(松山)において、グリーンアジア共催として上記企画セッションが行われた。3回目となる今回は、グリーンアジアの学生に産業界の現状や求める人材について知ってもらうこと、ならびに産業界にグリーンアジアの学生の現状についてお互いに情報を供することを目的とし、資源業界の主な会社の方に多数ご講演をいただいた。まず大学教員より、主に企業連携と博士教育プログラムについて4件、次いで産業界の方が4件、最後に博士課程の学生により4件の発表が行われた。学生はその後ポスターセッションにおいても発表した。参加者はおおよそ40名ほどであった。

まず笹木教授によりGAの紹介、理工系リーダー人材育成の取り組みと、企業連携の重要性が説明された。その後、早稲田大学大和田教授、東北大学柴田准教授、九州大学平島教授より、それぞれの立場からの産学官連携や博士人材育成の現状、研究内容について報告された。その後、JX日鉱日石金属、DOWA エコシステム、三菱マテリアル、住友金属鉱山といった資源界を代表する各会社の方より、企業内教育システム、博士人材を採用するに当たっての現状や、博士人材に期待するものなどを、大学との共同研究や海外展開の現状と合わせて紹介された。続いて、グリーンアジアの学生を含む博士課程の学生による研究発表が行われた。学生セッションは、発表およびポスター両方において行われ、教育的観点よりともに英語で行われた。

今回で三回目となるグリーンアジアの企画発表であったが、今回は学生の就職を見据えて産業界とのつながりを意識するセッションとなった。各大学における企業連携、産業界における海外展開や共同研究を通して、博士に求められるものは何かとすることを各立場から総括的に知ることが出来る貴重な機会となった。これらの発表はグリーンアジアの趣旨に沿ったものであり、学生、企業ともにお互いを知ることの出来た、大変有用な企画発表だったと思われる。大学から企業へとシームレスな橋渡しを可能とするものとして、このような機会は資源だけではなく、グリーンアジア各専攻および全体においても、必ず必要なものであり、機会を見て積極的に行い続けることを意識するべきであると強く感じたセッションとなった。今回、ご参加いただいた会社の方、ご協力いただきました各大学の教員の方に深く感謝いたします。またこのたび多方面にご援助をいただきました。この場で深くお礼申し上げます。

